

東日本大震災復興祈念公園検討会議 説明資料

平成24年1月

都市局 公園緑地・景観課

被災自治体の復興計画における震災復興祈念公園の位置づけ(1)

■市町村の復興計画等における震災復興祈念公園の位置付け状況

項目	青森 県	岩手 県	宮城 県	福島 県	茨城 県	栃木 県	千葉 県	計
復興計画策定市町村数※1	3	12	19	18	7	1	6	66
うち復興祈念施設※2を位置 づけている市町村数	2	8	10	5	1	0	1	27
うち復興祈念公 園を位置づ けている市町 村数	0	8	7	2	1	0	0	18
うち公園以外の 復興祈念施 設のみを位 置づけている 市町村数	2	0	3	3	0	0	1	9

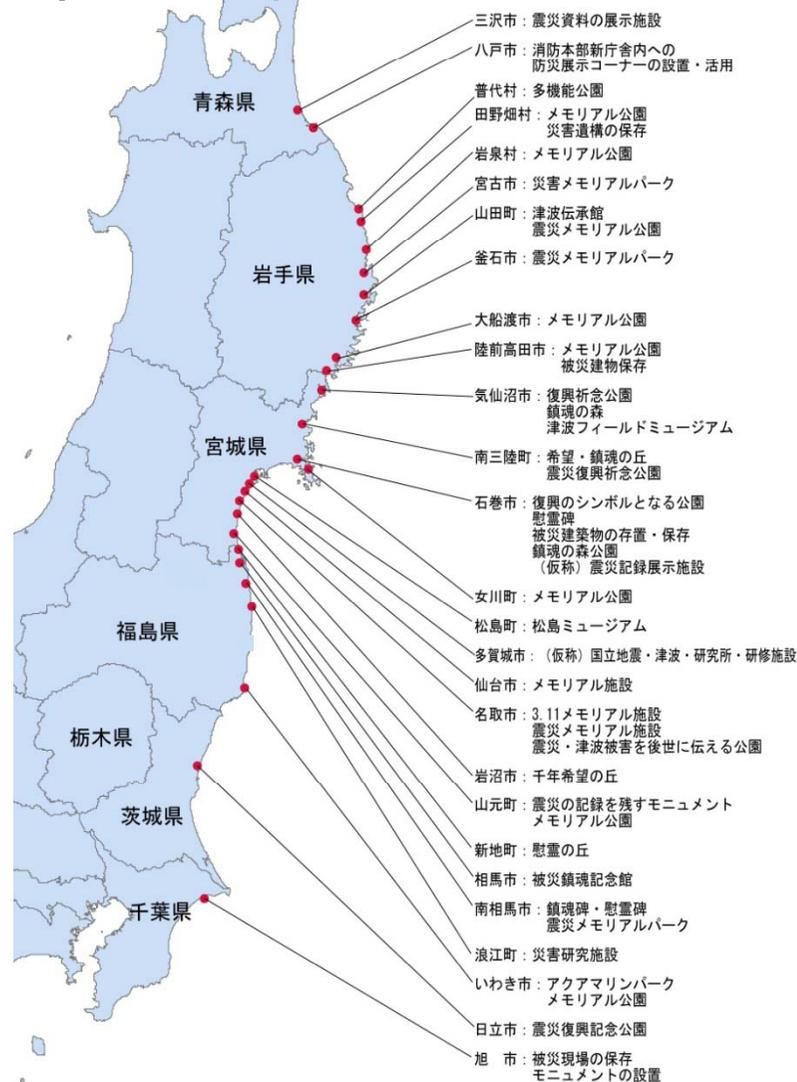
※1 復興計画策定市町村には、復興計画を策定中の市町村も含まれている。

※2 東日本大震災による被害者の追悼・鎮魂や、災害の記録の伝承を目的とした施設をいう。

資料：国土交通省調べ

被災自治体の復興計画における震災復興祈念公園の位置づけ(2)

■復興計画等で位置づけられている震災復興祈念施設等を位置づけている自治体の分布



資料：国土交通省調べ

被災自治体の復興計画における震災復興祈念公園の位置づけ(3)

■復興計画における震災復興祈念公園等に関する主な事例①

事例	記載内容
震災メモリアルパーク (釜石市)	<ul style="list-style-type: none">● 震災で犠牲となられた方々の鎮魂と、そのもとで学んだ教訓などを長く後世に伝えるため、複合的な機能を備えた震災メモリアルパークの整備を進めるとともに、地域における津波の痕跡などを現地に石碑などで示し、津波災害に対する意識が風化しないよう努めます。
メモリアル公園 (大船渡市)	<ul style="list-style-type: none">● 犠牲者の追悼、鎮魂や、地域の防災拠点としての機能を兼ね備えたメモリアル公園などの整備
高田松原地区・防 災メモリアル公園ゾ ーンの形成 (陸前高田市)	<ul style="list-style-type: none">● 本市のシンボルでもある高田松原公園を再生するとともに、今回の大震災の多くの犠牲者を追悼、鎮魂する公園として、大震災の経験や教訓を後世に語り継ぎ、そしてまたより安全で暮らしやすいまちを創り上げ、「防災文化」として醸成し継承していくため、市街地を防御する機能を兼ね備えたメモリアル施設を有する高田松原・防災メモリアル公園ゾーンの整備を進めます。● 復興のシンボルとなる高田松原公園の公園区域を拡大し、鎮魂の丘や被災建物(道の駅高田松原)の保存、メモリアル広場などを含め、次世代をはじめとする市民参画のもと市民の憩いの場となるメモリアル公園を整備します。
復興祈念公園 (気仙沼市)	<ul style="list-style-type: none">● 安波山及び周辺地区などを候補地として鎮魂の森を整備するほか、復興のシンボルとして復興祈念公園と防災拠点施設を整備し、全国から多くの方々が訪れることで地域活性化を推進します。併せて、地盤沈下等の現状の活用など震災の様子を伝える工夫を行います。

被災自治体の復興計画における震災復興祈念公園の位置づけ(4)

■復興計画における震災復興祈念公園等に関する主な事例②

名称	記載内容
震災復興祈念公園 (南三陸町)	● 津波に対して安全なまちづくりの象徴として、津波の浸水域などに、祈念公園を整備するとともに、慰霊碑の建立や津波の痕跡の保存、到達点を示す石柱の設置などのメモリアルを整備します。
メモリアル公園 (女川町)	● 町中心部においては、被災した施設を災害遺構として保存し、被災者慰霊碑、メモリアル公園の整備を図ります。
3.11メモリアル施設 (名取市)	● メモリアル広場やミュージアムなど。
千年希望の丘 (岩沼市)	● 沿岸部に多重防御の新しい社会共通基盤として、津波の力を減衰させる津波よけ「千年希望の丘」を整備し、減災に取り組むとともに、後世の人々へ今回の津波被害の大きさや私たちの想いをつなぐために、「千年希望の丘」を含めたエリアをメモリアルパークとして整備を図ります。
震災メモリアルパーク (南相馬市)	● 北泉海浜総合公園は、震災の傷跡、教訓を後世に残し、防災意識の向上を図るため、震災メモリアルパークとして整備します。

東日本大震災の被害状況を表す構造物等

津波により破壊された施設や構造物



津波により移動し、取り残された船舶等



津波により変貌した自然地物



復興計画において保存等が位置付けられた構造物等

被害状況を表す構造物等を保存し、震災復興祈念公園として整備することが復興計画に位置付けられた事例は女川町(女川サブメント、女川交番、江島共済会館)、山元町(中浜小学校)の2町、4施設。



《参考》

「震災メモリアル公園」に賛否 気仙沼”陸の船”保存国に要望

東日本大震災の爪痕を震災メモリアル公園として残す計画が被災地で動き出している。震災以後、財政難に陥っている市町村は国営公園としての整備を国に要望。(中略)その一方で、被災者からは「つらい体験を思い出す」と反対の声も出ている。

(2012/01/06 中日新聞 夕刊 12面)

※ここで掲載している記事の無断転載を禁ずる。

阪神・淡路大震災 主な震災復興関連公園・施設等一覧

施設名	設置主体	管理・運営主体
①神戸港震災メモリアルパーク	神戸市	神戸市
②野島震災復興記念公園(仮称) →北淡震災記念公園 (※阪神・淡路大震災記念プロジェクト)	(野島断層保存館) 兵庫県 (その他) 北淡町(現:淡路市)	淡路市
③三木震災記念公園(仮称) →三木総合防災公園(防災公園ゾーン) (※阪神・淡路大震災記念プロジェクト)	(防災公園)兵庫県 (防災センター)兵庫県 (実験施設等)科学技術庁	(防災公園)兵庫県 (防災センター)兵庫県 (実験施設等)独立行政法人防災科学技術研究所
④阪神・淡路大震災メモリアルセンター(仮称) →人と未来防災センター (※阪神・淡路大震災記念プロジェクト)	兵庫県	財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構
⑤神戸震災復興記念公園 (※阪神・淡路大震災記念プロジェクト)	神戸市	神戸市
⑥東遊園地 (※「慰霊と復興のモニュメント」設置)	神戸市	神戸市

災害等からの復興を祈念(記念)する施設の事例(1)

■国内事例① 県営平和祈念公園 (沖縄県) [34.55ha] 主な事業主体: 沖縄県

■概要 公園内には沖縄戦の写真や遺品などを展示した平和祈念資料館、沖縄戦で亡くなられたすべての人々の氏名を刻んだ「平和の礎」、戦没者の鎮魂と永遠の平和を祈る「平和祈念像」、そして摩文仁の丘の上には国立沖縄戦没者墓苑や府県、団体の慰霊塔が50基建立されている。



平和の火



平和の礎
(約 1.8ha)



沖繩県平和祈念資料館

地上1階 地下2階建
(展望塔は4~5階の高さ)
延床面積 10,180m²
敷地面積 12,800m²



沖繩平和祈念堂



式典広場
(約1.2ha)

災害等からの復興を祈念(記念)する施設の事例(2)

■国内事例② 平和記念公園 (広島市) [12.2ha]

主な事業主体: 広島市

- 概要 世界に向けて人類の平和を願い訴える目的と過去の過ちを繰り返さないために、爆心地に近いこの周辺に公園の建設が計画され、1954年4月1日に完成した。公園の計画は、原爆ドーム・慰霊碑・資料館を結ぶ南北軸と、資料館を中心とする3棟の建物による東西軸からなる。



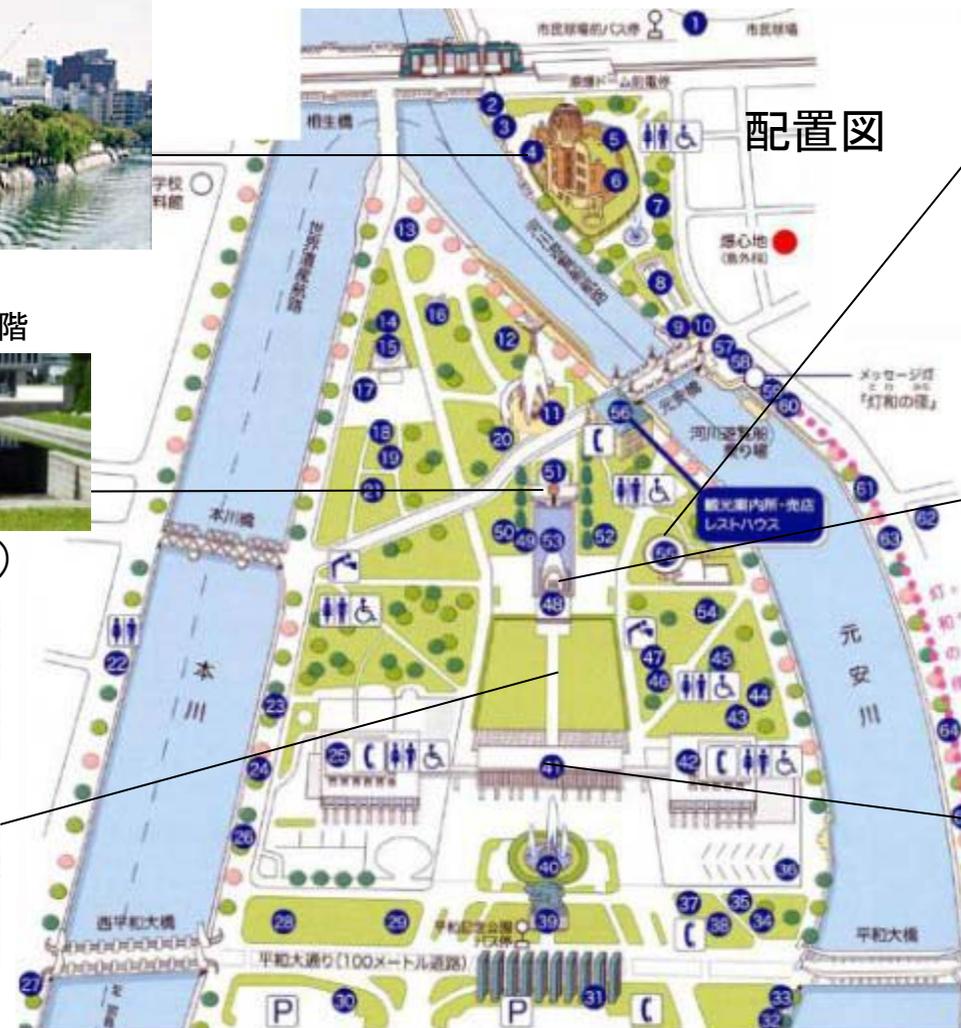
原爆ドーム
地上3階一部5階建て、地下1階



平和の灯 (ともしび)



広場 (約1.0ha)



国立広島原爆死没者
追悼平和祈念館
地下2階地上1階建
延床面積 3,099m²



原爆死没者慰霊碑



広島平和記念資料館
本館: 地上2階一部中3階建
延床面積 1,615m²

災害等からの復興を祈念(記念)する施設の事例(4)

■国内事例④ 北淡震災記念公園 (兵庫県) [3.4ha] 主な事業主体:淡路市(旧北淡町)

■概要 地震で現れた国指定天然記念物・野島断層を、ありのままに保存・展示し、多様な角度から断層を分かりやすく解説している。



野島断層保存館

本館:地上1階建
延床面積 2,815m²



保存館内の展示
(野島断層)



いこいの広場
(約0.3ha)



メモリアルハウス

本館:地上2階建
延床面積 290m²



セミナーハウス

本館:地上1階建
延床面積 549m²

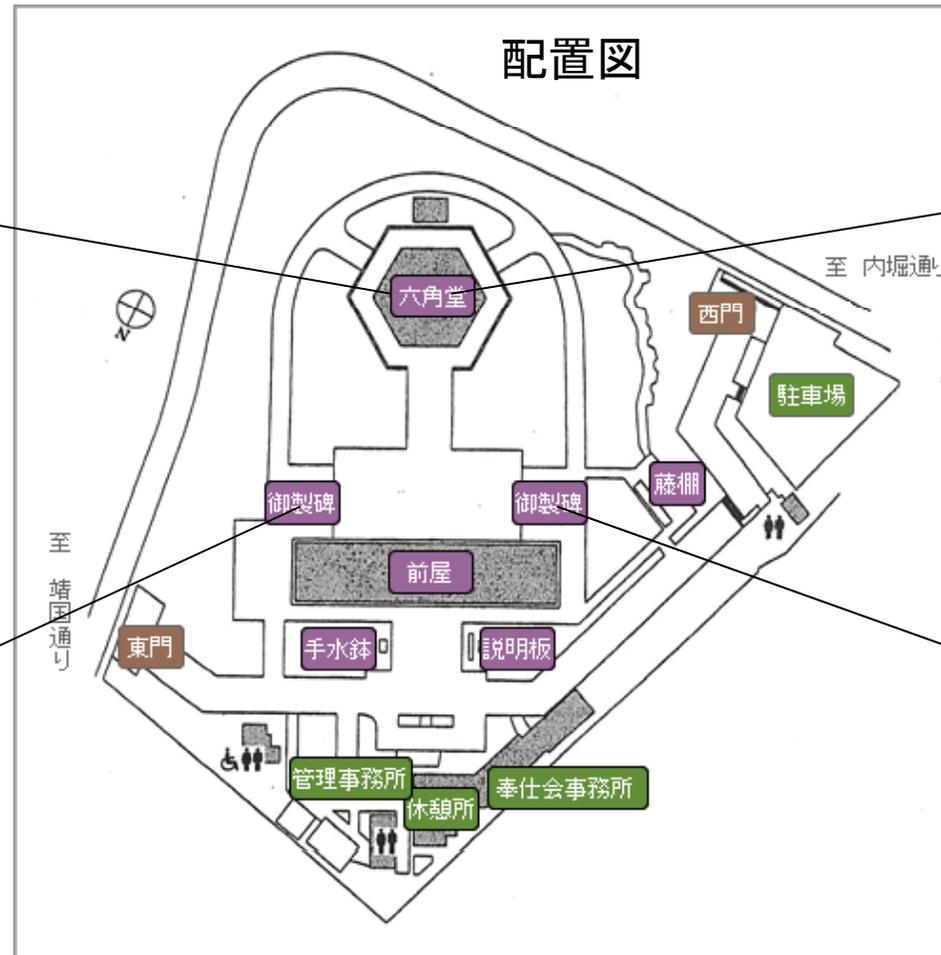
災害等からの復興を祈念(記念)する施設の事例(5)

■国内事例⑤ 千鳥ヶ淵戦没者墓苑 (東京都) [1.6ha] 主な事業主体:厚生労働省、環境省

■概要 先の大戦で海外における戦没者の遺骨を納めた「無名戦没者の墓」として創建された。苑内の植栽は常緑樹を主とし、そこに樺など落葉樹を混えるといった戦没者墓苑に相応しい厳かさ、静けさを保つ工夫がなされた。



六角堂



納骨室・陶棺



昭和天皇御製の碑



今上陛下御製の碑

国家的記念事業として設置した都市公園の事例

■事例 国営昭和記念公園(東京都)[180.1ha(うち165.3ha供用)] 主な事業主体: 国土交通省

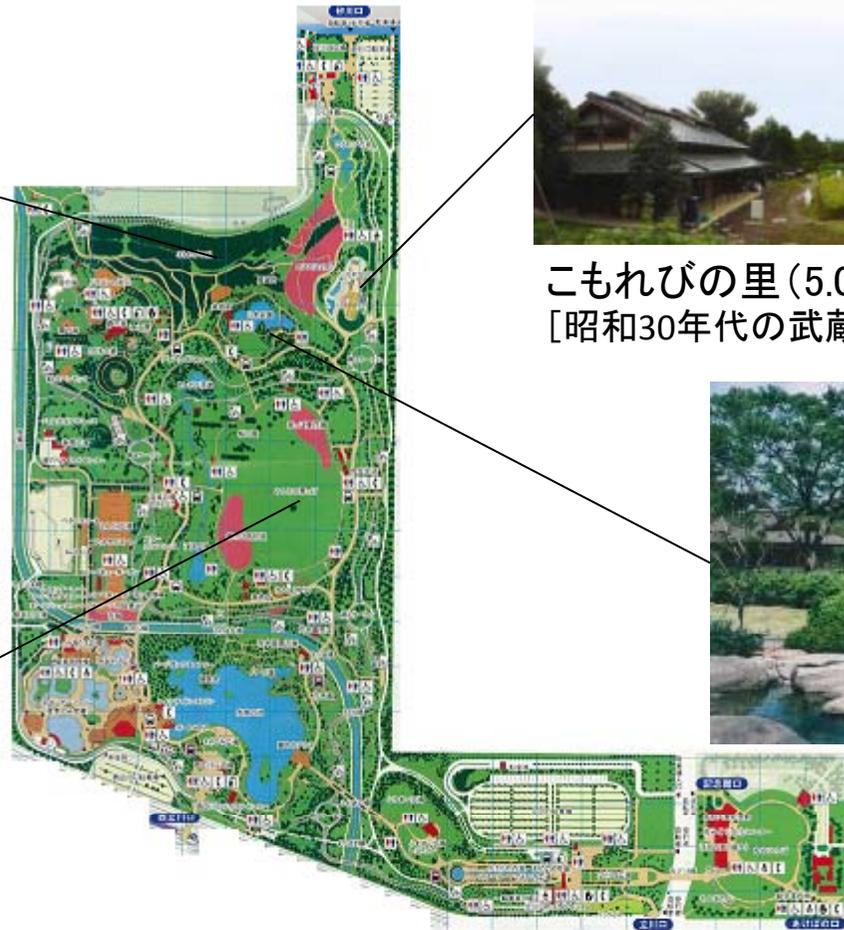
■概要 国家的記念事業(昭和天皇御在位五十年記念事業)として、閣議の決定を経て設置された国営公園であり、「緑の回復と人間性の向上」をテーマに豊かな緑につつまれた広い公共空間と文化的内容を備えたものとして整備が進められている。



こもれびの丘(7.8ha)
[武蔵野の景観の蘇生]



みんなの原っぱ(25.2ha)
[豊かな緑に包まれた広大な空間]



こもれびの里(5.0ha)
[昭和30年代の武蔵野の農村風景を再現]



日本庭園(5.9ha)
[伝統的造園技術の継承]

災害等からの復興を祈念(記念)する施設の事例(6)

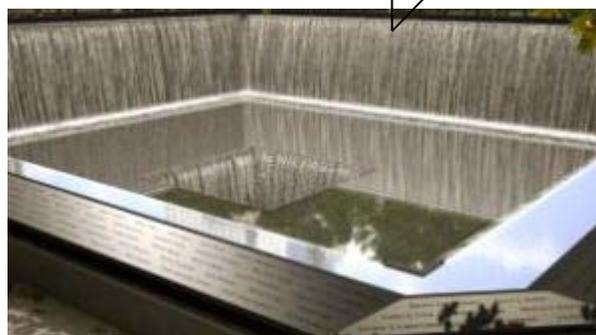
■海外事例① 9.11メモリアルパーク (ニューヨーク市) [3.2ha]

■概要 旧世界貿易センターの南・北の2棟の正確な場所に追悼の滝を建設。メモリアルパークには400本以上の植樹と美術館が配置されている。



美術館とツインタワーモニュメント

本館:地上1階建
建築面積 約1500m²



追悼の滝(記念碑)(約3600m²/箇所)



記念プラザ(約2.2ha)



十字架の鉄骨

(2012年完成
予定の博物館
に移設予定)

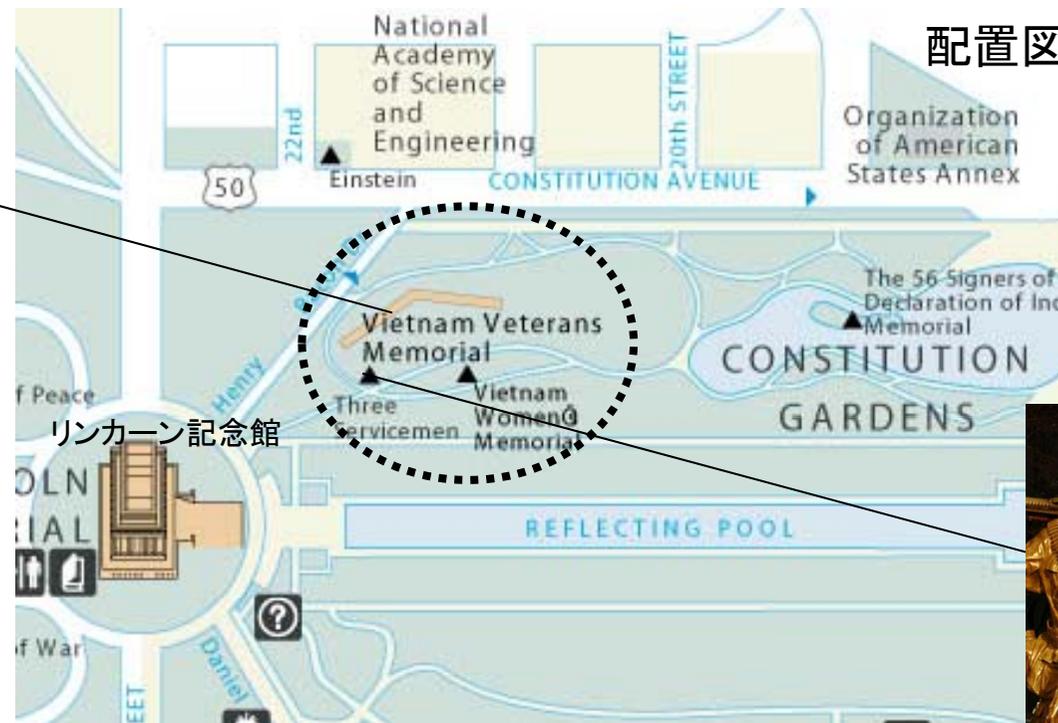
災害等からの復興を祈念(記念)する施設の事例(7)

■海外事例② ベトナム戦争戦没者慰霊碑 (ワシントンDC) [0.8ha]

■概要 ベトナム戦争戦没者慰霊碑はナショナルモール(国立公園)の一角、リンカーン記念館の北東に設置されている。慰霊碑であるメモリアル・ウォールは黒い花崗岩で作られた2枚の壁で、一面に戦没兵士の名前が刻まれている。メモリアル・ウォールが墓石のような抽象的な立体であったこと等で非難を浴び、急遽「3人の兵士」と題された伝統的な人物彫刻が配置された。



メモリアル・ウォール



配置図



「3人の兵士」の彫刻